

早来丸が11月に 苫小牧港に入港

期日決定後、
早来工営株から
環対協に報告

早来工営株式会社の親会社である三友プラント株式会社は関東一円での産業廃棄物の回収と処理を行っている企業です。安平地区に研究所があり、検査業務を行っています。

早来工営株では、三友プラント株が本州で回収し処理した廃棄物や石狩工場で使用する燃料を同社所有の専用船「早来丸」で直接持ち込んだり、道内で受け入れた廃棄物を石狩にある施設で焼却処理をした後の残渣物を埋め立て処分しています。

環対協(安平町南部地区環境問題対策協議会)では、平成11年12月に検査委員会を中心に立ち入り査察と廃棄物の成分分析を行いました。

今回の来航について、環対協では会員に限らず査察を希望する方に呼びかけをしています。詳しくは、事務局の大島さんまで連絡を。☎2091



平成17年度事業の状況報告より

安定型処分場

コンクリート片や農業用ビニールなど汚水等が流失しないものを平地に埋める場所です。

早来工営株では、月平均240m³の安定5品目を受入れ、重機により破碎、転圧を十分繰り返し、覆土による飛散防止を行い、作業を進めています。

管理型処分場

廃棄物はピットと呼ばれる空間に埋め立てられます。外周と底部は二重のシート(50年以上の耐久性がある)の中で管理されます。

第4期処分場は6月現在、約28万6,000m³の埋立て物を受入れ、転圧・覆土を繰り返し、臭気対策を十分施しながら作業を行っています。

水処理施設

廃棄物埋立地から流出する水が集められ、法で定める安全基準以下に安定するまで処理し最終的に安平川に放流されます。

会社ではこの作業中に悪臭が発生していましたが今では大きく改善されました。



ことでした。
環対協の要求に対して、早来工営株は一つ一つ課題を解決し、水質検査は適正基準を大きく下回ったといえます。BOD(水質汚染の程度を示す数値)排水基準60ppmに対して、平均6〜8ppmまで処理して放流したことが地域住民に報告されました。懸念だった臭気の苦情については、フリーダイヤルを設け、地域住民の声に耳を傾けているそうです。
第5期工事の完成に合わせ

て場内の出入り口付近にタイヤ洗浄装置を計画しています。
地域住民と企業との共存
香川県での豊島事件は産廃問題にさまざまな課題を残しながらも決着することができました。
しかし廃棄物の撤去が完了し、原状回復までには長い歳月が必要です。それまでの間、有害な物質が住民の生活圏の中に存在します。
今後、経済活動の副産物として排出される廃棄物と

ように向き合っていくべきなのでしようか。廃棄物処理業者は協定書に基づいて地域住民に誠実に対応することであり、迅速に改善できる技術力が必要ではないでしょうか。住民側も「安全である」ことを常に確認していくことが大切です。
安平町南部地区自治会の全世帯が対象の環対協のメンバー。会員の皆さんが監視の目を持つことが安心できるまちづくりには不可欠です。